

会員の皆様にお聞きしました

# 新南陽の景況感

## 調査概要

**調査対象期間** 2020年10月～12月(現状)における景況感と、2021年1月～3月(今後)における景況感見通し

**調査対象** 新南陽地域の企業94社

**調査方法** 商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収

**調査項目** 「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

## 産業全体

全ての業種で業況D1は持ち直しつつあるが、先行き見通しはマイナスに転じる不安もあり、不透明な状況が続く。

10月～12月期の業況D1の全産業の合計値は▲71.4となり、前期調査(7月～9月期)よりもマイナス幅が15.9ポイント縮小した。山口県中小企業景況調査結果では全ての業種でマイナス幅が縮小しているが、新南陽地域では建設業の業況D1が前期に比べてマイナス幅を拡大しており、卸・小売業、飲食・宿泊業、建設業では▲100%(全事業者が悪い)と回復が見通している。

今後3カ月の先行き見通しは、全体ではマイナス値が拡大するとなっており、建設業のみがマイナス幅が縮小する数字を示している。山口県中小企業景況調査結果は小売業のみマイナス幅が拡大しており、卸、サービス業、建設業ではマイナス値が縮小している。新南陽地域は、10月～12月はマイナス幅が縮小4業種、拡大1業種、今後3カ月の先行き見通しは仕入単価D1のマイナス幅が拡大、従業員D1は上昇(不足)している。高齢者顧客の来店控えやキャンセル化が未浸透と報告あり。

今後3カ月の先行き見通しは仕入単価D1、従業員D1は前期と同様に100%(全事業者が不足)と回答。その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。

**【卸・小売業】** 売上高D1、採算D1、仕入単価D1、従業員D1は前期の調査に比べてマイナス幅が縮小している。今後の景況感見通しは、従業員D1が縮小し、仕入単価D1が縮小している。今後3カ月の先行き見通しは、従業員D1が100%(全事業者が不足)と回答、その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。

**【サービス業】** 製造業と同様に、仕入単価D1が上昇(悪い)と回答が▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。

設備D1は前期と同様に100%(全事業者が不足)と回答。その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。

今後3カ月の先行き見通しは、従業員D1が100%(全事業者が不足)と回答、その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。

**【飲食・宿泊業】** 業況D1は▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。今後3カ月の先行き見通しは、従業員D1が100%(全事業者が不足)と回答、その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。

**DI(景気判断指数)値とは?**  
DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率をしめすものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。  
**DI = (増加・好転などの回答の割合) - (減少・悪化などの回答割合)**

	全体		卸・小売業		製造業		サービス業		飲食・宿泊業		建設業		運輸業		保険業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
業況	-71.4	-80.8	-100.0	-100.0	-14.3	-20.0	-33.3	-100.0	-100.0	-100.0	-75.0	-75.0	-55.6	-60.0	100.0	-33.3
売上高	-59.4	-82.8	-89.5	-100.0	-14.3	-60.0	-50.0	-100.0	0.0	-100.0	-77.8	-80.0	-20.0	-60.0	100.0	100.0
採算	-61.5	-80.4	-86.7	-100.0	33.3	100.0	-42.9	-100.0	0.0	-100.0	-77.8	-77.8	-25.0	-66.7	100.0	0.0
仕入単価	-33.3	-77.8	14.3	-60.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	-100.0	-33.3	-60.0	0.0	-100.0	0.0	0.0
従業員	87.5	80.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	-100.0	100.0	100.0	100.0	80.0	100.0	100.0
設備	57.1	69.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	-100.0	0.0
資金繰り	-71.4	-92.3	-100.0	-100.0	-33.3	-100.0	-50.0	-100.0	0.0	-100.0	-66.7	-60.0	0.0	-100.0	0.0	0.0

**【卸・小売業】**  
 ◆コロナ禍において買い物先を一つで済ませようとしているので個人店への足が遠のいた。PayPay20%戻ってくるキャンペーンは効果的であるが、高齢者は何のことかわかっているというのが限定的だと思う。  
 ◆景況が悪化している要因として、やはり我々のお客様が若い方が多く新型コロナウイルス感染症がはやると恐るしいからと来店されなくなっています。又、その関連でマスクを常時するようになるのとフロンテーション、トップの需要がぐりと下がっています。  
 ◆コロナの影響。輸入雑貨のため仕入れに影響が出た。パレンタインの人気商品が仕入れられなかった。

**【製造業】**  
 ◆新型コロナウイルス感染症の収束が見えてくれば、ある程度の回復は見込める。(期待)  
 ◆中小企業にとって不利な働き方改革等の法改正に、コロナウイルスの影響が重なり、痛手です。田舎の中小企業は経済の回復が、都会より何倍も遅いと考えると、不安である。  
 ◆新型コロナウイルスより立ち直りつつある。自動車産業にけん引され、業況は回復。また、輸出では、中国を中心とした需要回復により業況回復。5G需要を見られる需要増もある。今後、新型コロナウイルスの世界的第3波の影響とワクチンによる回復を注視している。

**【サービス業】**  
 ◆業況は半年並みに戻ってきている。従業員の増員、教育が急務。  
 ◆労働状況(働き方改革)最悪です。  
 ◆新型コロナウイルスの影響により外出機会減少により来客数、回数が減少しています。また、感染防止対策のため消毒用品、お客様によりいいマスクなどの購入費用が必要になりました。

**【飲食・宿泊業】**  
 ◆新型コロナウイルス感染症の影響で売上は、大幅ダウン。Go To キャンペーンについては、食事券の裏面に店の印章を付いたり、たいへんです。何か他に手間のかからない方法はないでしょうか?！  
 ◆飲食店の現状はあまりに激変しています。従業員の事もありますが、止めるわけには行きません。行政の方が必要です。  
 ◆Go To トラベル等行政の支援策で一時的業績は良くなりましたが、Go To トラベルの停止や緊急事態宣言の再発行でお客様の流れが止まってしまいました。Go To トラベルの副作用を痛感しております。

**【建設業】**  
 ◆建設業の(特にビル物件)着工が減少傾向にあります。又、働き方改革により休日が増加したが、単価がUPしないと非常に厳しい。(効率化は難しい)  
 ◆今後の景気は新型コロナウイルスの感染再拡大などの影響もあり一時的に後退すると見込まれるものの春先に底打ちしたのち定修等で緩やかな上向き傾向で推移すると思われる。

**【運輸業】**  
 ◆第3波や変異種の確認など、今後も動きの回復の兆しは見えない中で、在庫増加に伴う倉庫不足が懸念され、また、インフラ整備による固定費増加も大きな負担となっている。しかしながら、物流業はエッセンシャルビジネスであるという認識のもと、顧客(荷主)とも密に連携し、安定的な物流体制の維持に努めていかなければならない。  
 ◆物流の動向は上向きにきているが、新型コロナウイルスの影響が今後どうなるかによって物流が停滞する恐れがある。  
 ◆コロナウイルスで経済が下向きにはなっていないが依然として人手不足解消には至っていない。県外から同市に引っ越してくる者等に対して空き家等の建物に定着できる仕組みを提案してもらいたい。

**【保険業】**  
 ◆旅行、イベントの減少で傷害保険は対前年比で減少。一方、コロナ関連の保険商品(休業、入院等)の問い合わせが増えた気がする。  
 ◆リモートでの対応が増えてきており、非対面での契約が主流となりつつある。そうすると色々なビジネスのネタが拾えなくなるので、あえて、対面での募集を心掛けている。

**◆◆◆ 会員の声 ◆◆◆**

**【卸・小売業】**  
 ◆Go To キャンペーンによる影響を大きく受けているとの報告有。  
 ◆業況D1、売上高D1、採算D1、前回の調査に比べてマイナス幅が拡大している。今後3カ月の先行き見通しは、全てでの項目で、マイナス幅が縮小している。  
 ◆今後3カ月の先行き見通しは、縮小している業種は建設業のみ。緩やかに回復が期待できるが、不透明な状況が続く。

透明感もあるとの報告有。  
 ◆設備D1は0(回答の良い、と悪いが同数)。その他の項目は、全て前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。  
 ◆今後3カ月の先行き見通しは、業況D1、売上高D1、採算D1でマイナス幅が縮小、仕入単価D1、資金繰りD1が▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。  
 ◆物流の動向は上向き、人手不足等の報告有。

今後の景況感見通しは、従業員D1が縮小し、仕入単価D1が縮小している。  
 ◆今後3カ月の先行き見通しは、従業員D1が100%(全事業者が不足)と回答、その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。  
 ◆今後の景況感見通しは、従業員D1が縮小し、仕入単価D1が縮小している。  
 ◆今後3カ月の先行き見通しは、従業員D1が100%(全事業者が不足)と回答、その他の項目は全て▲100%(全事業者が悪い)と回答されている。

監修・分析 マセージニアリング 代表 中小企業診断士 佐伯 昌之 氏